

2022年9月期 第1四半期 連結決算 説明資料

株式会社くふうカンパニー

2022.2.14

くふうカンパニー

1. 2022年9月期 第1四半期 連結業績

2. 各事業セグメントの概況

- 毎日の暮らし事業
- ライフイベント事業

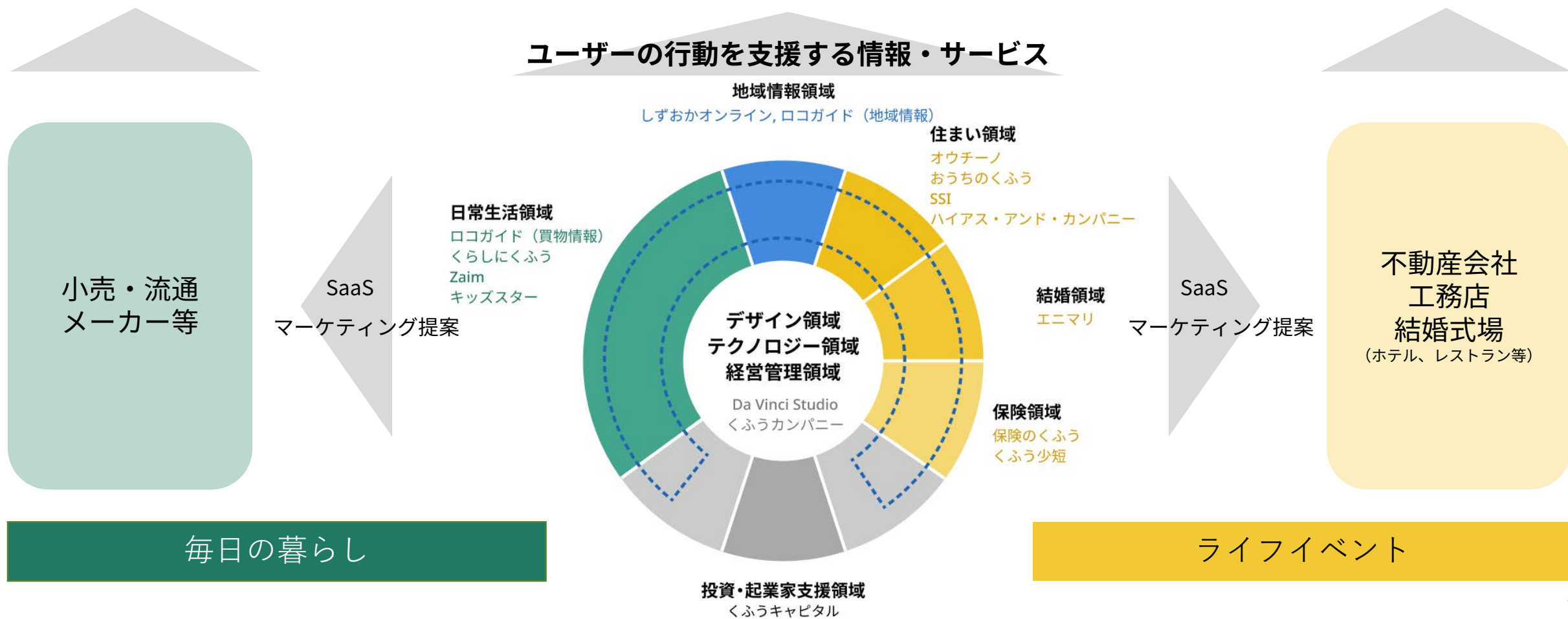
1. 2022年9月期 第1四半期 連結業績

グループの事業ポートフォリオとビジネスモデル

毎日の暮らしから、人生の転機となる大きなイベントまで網羅し、一人でも多くのユーザーに直接、及び事業者支援を通じて間接的に、少しでも多くの満足を提供する

あらゆる生活者（ユーザー）

ユーザーの行動を支援する情報・サービス



ハイライト

グループ全体

当第1四半期のEBITDAは626百万円、前年同四半期比276.4%（ハイアス・アンド・カンパニー(株)の連結による影響を除いたベースは同188.0%）となり、通期業績見通しに対しても順調に推移

毎日の暮らし事業

（日常生活領域） 月間利用者数は9月末の約3,800万人から約4,000万人へ増加、
経営統合により業績も順調に推移しているが、強いメディア力を活かした収益力の顕在化が次の課題

ライフイベント事業

（住まい領域） ハイアス・アンド・カンパニー(株)の連結により、EBITDAは前年同四半期比で約15倍（同社の連結による影響を除いたベースは約5倍）となり、住まい領域全体として安定的に利益を創出

（結婚領域） コロナ禍で先行き不透明な状況が続くものの黒字を維持、会場とのプロデュース契約が伸長し、
多種多様な会場及び新しい結婚式プランの掲載が拡大

連結業績

■ 通期業績見通しに対して順調に推移

(単位:百万円)	20/9期 通期 ※	21/9期 通期 ※	22/9期 通期見通し	前期比	22/9期 Q1	進捗率
売上高	6,042	11,256	18,000	159.9%	4,528	25.2%
営業利益	604	1,000	1,300	129.9%	369	28.5%
EBITDA	890	1,617	2,300	142.2%	626	27.2%

※ 2020年9月期（2019年10月～2020年9月）及び2021年9月期（2020年10月～2021年9月）の実績は、それぞれの期間における旧(株)くふうカンパニー及び(株)ロコガイドの連結業績を単純合算した金額（非監査）。

連結業績 四半期

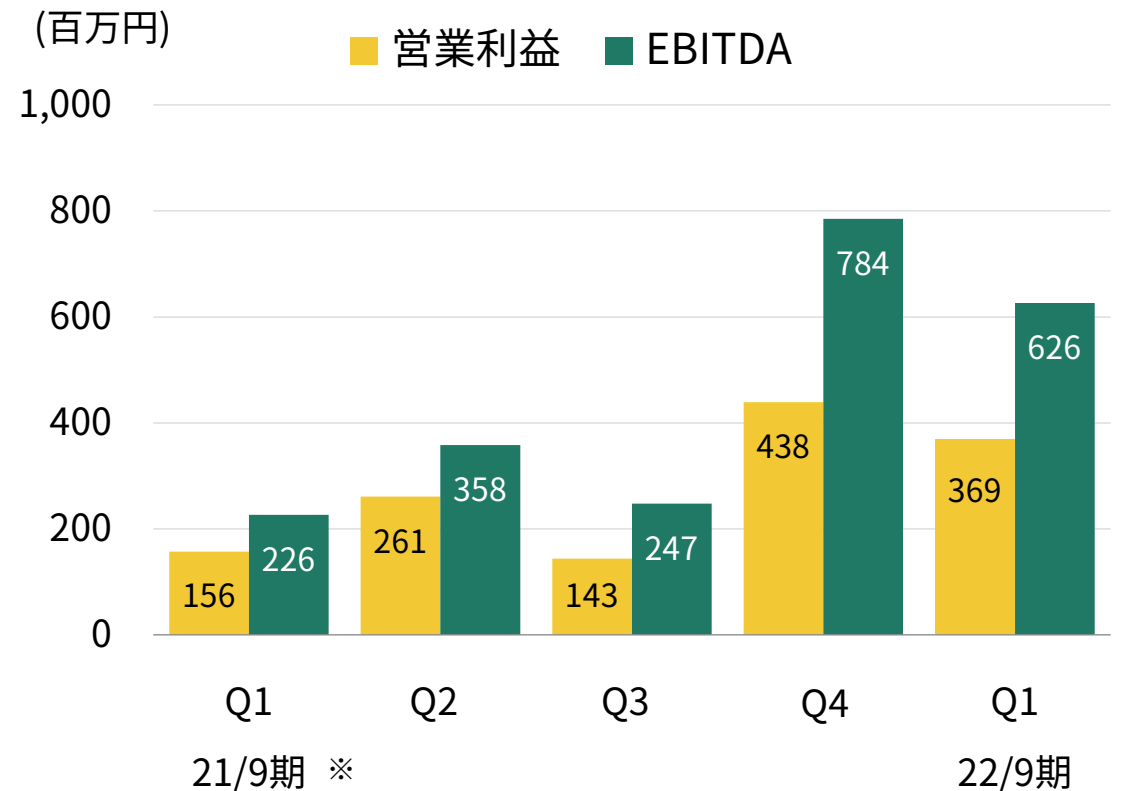
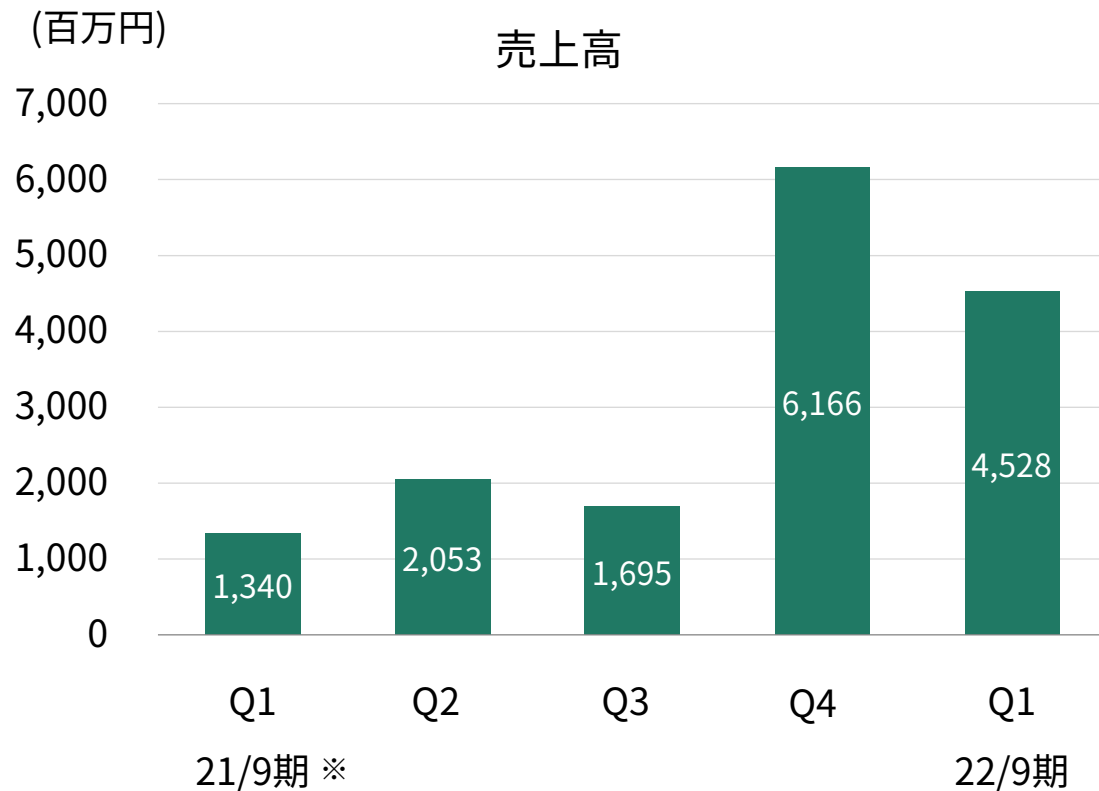
- 前年同四半期比で大幅な増収増益を実現
(前四半期の業績はハイアス・アンド・カンパニー(株)の変則決算が影響)

(単位:百万円)	21/9期※				22/9期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前年 同四半期比	前四半期比
売上高	1,340	2,053	1,695	6,166	4,528	337.8%	73.4%
営業利益	156	261	143	438	369	235.8%	84.3%
EBITDA	226	358	247	784	626	276.4%	79.8%

※ 2021年9月期（2020年10月～2021年9月）の実績は、旧(株)くふうカンパニー及び(株)ロコガイドの連結業績を単純合算した金額（非監査）。
(株)キッズスターの損益を2021年9月期第2四半期連結会計期間より、(株)しずおかオンライン及びハイアス・アンド・カンパニー(株)の損益を2021年9月期第4四半期連結会計期間より連結。
ハイアス・アンド・カンパニー(株)の決算期変更に伴い、同社損益は2021年9月期第4四半期に2021年5月～9月までの5か月分を計上。

連結業績 四半期推移

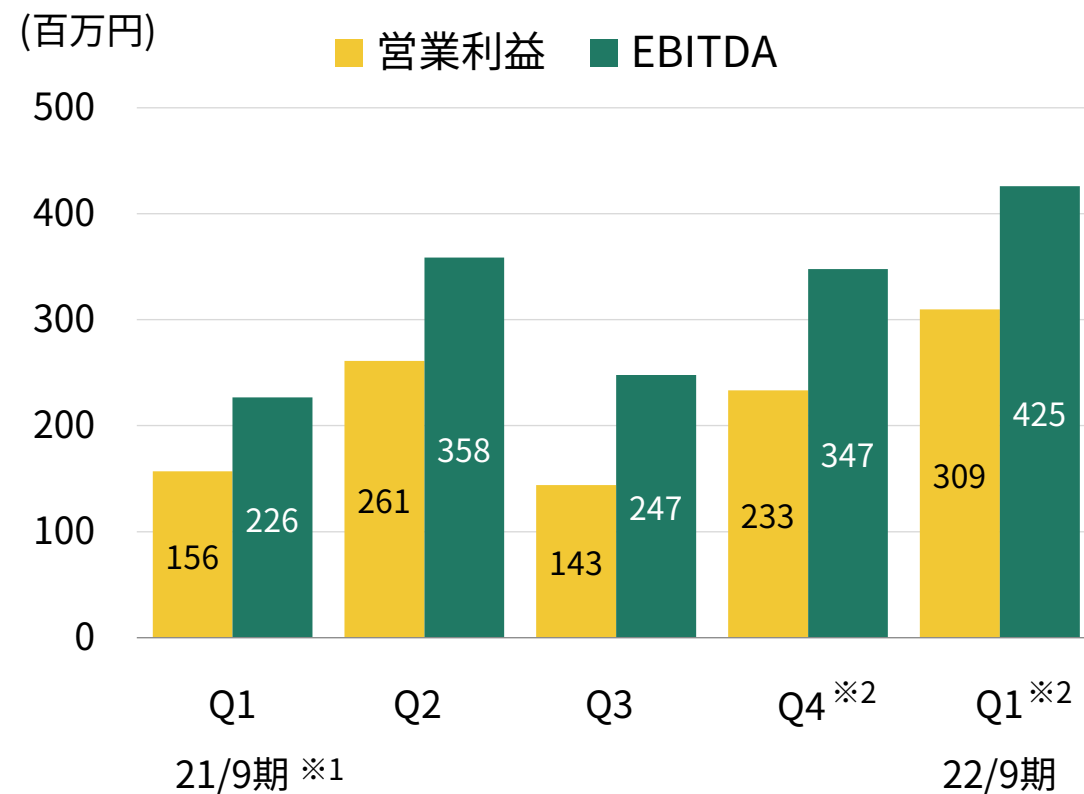
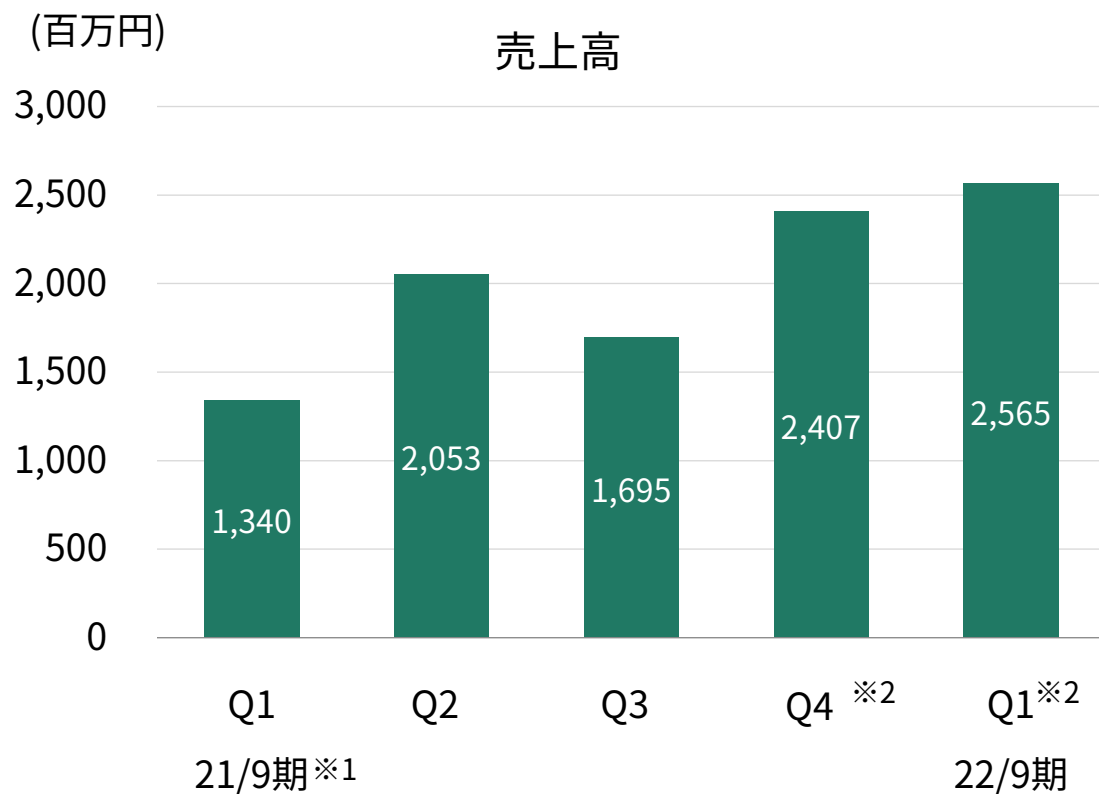
- 前年同四半期比で大幅な増収増益を実現
 (前四半期の業績はハイアス・アンド・カンパニー(株)の変則決算が影響)



※ 2021年9月期（2020年10月～2021年9月）の実績は、旧(株)くふうカンパニー及び(株)ロコガイドの連結業績を単純合算した金額（非監査）。
 (株)キッズスターの損益を2021年9月期第2四半期連結会計期間より、(株)しずおかオンライン及びハイアス・アンド・カンパニー(株)の損益を2021年9月期第4四半期連結会計期間より連結。
 ハイアス・アンド・カンパニー(株)の決算期変更に伴い、同社損益は2021年9月期第4四半期に2021年5月～9月までの5か月分を計上。

連結業績 四半期推移（ハイアス社を除く）

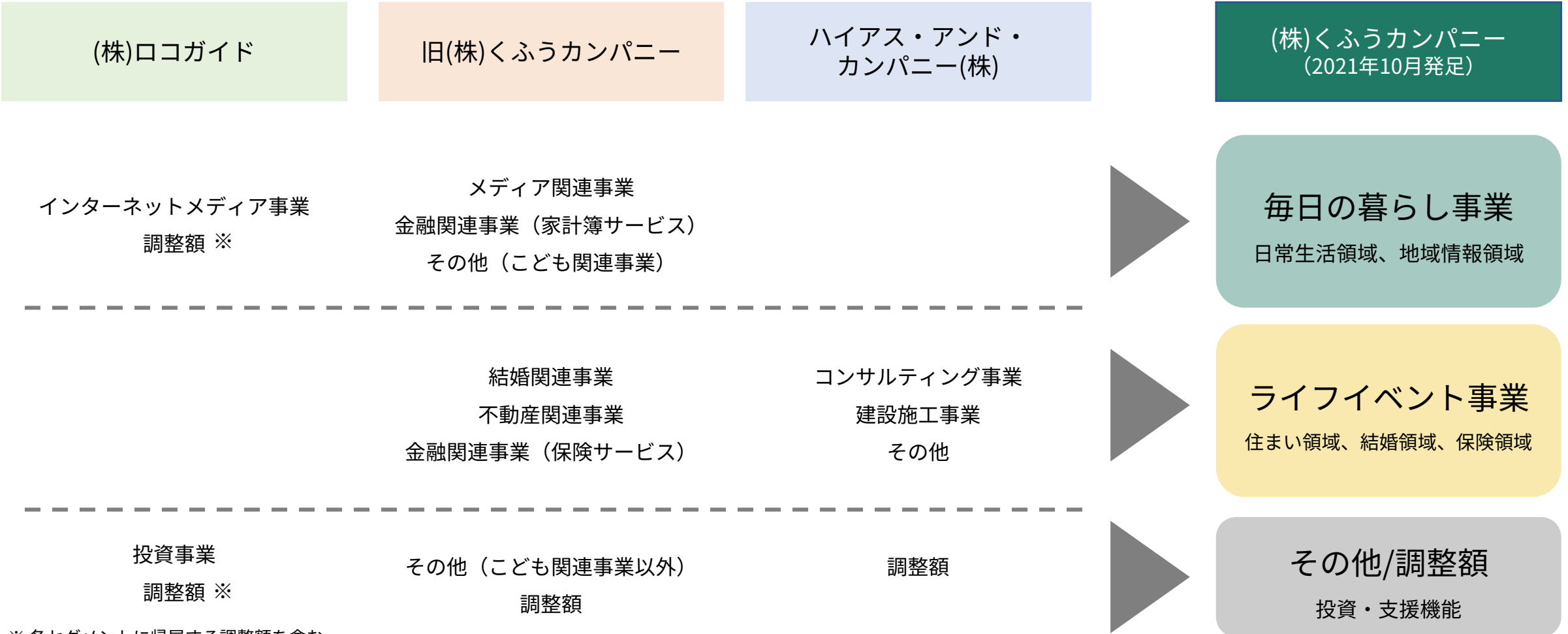
■ ハイアス・アンド・カンパニー(株)の連結による影響を除いた業績は増収増益トレンドを継続、前年同四半期比で売上高・利益共にほぼ倍増



※1：2021年9月期（2020年10月～2021年9月）の実績は、旧(株)くふうカンパニー及び(株)ロコガイドの連結業績を単純合算した金額（非監査）。
 (株)キッズスターの損益を2021年9月期第2四半期連結会計期間より、(株)しずおかオンラインの損益を2021年9月期第4四半期連結会計期間より連結。
 ※2：ハイアス・アンド・カンパニー(株)の影響を除いた金額。

統合後の事業セグメント分類

- 統合後の事業セグメントは「毎日の暮らし事業」と「ライフイベント事業」の2つに分類
- (株)ロコガイド（インターネットメディア事業）と(株)くらしにくふう（旧(株)くふうカンパニー・メディア関連事業）の組織統合を10/1付で決議



※ 各セグメントに帰属する調整額を含む。

連結業績 セグメント別売上高（四半期）

- 毎日の暮らし事業、ライフイベント事業ともに、堅調に推移
（ライフイベント事業の前四半期の業績は、ハイアス・アンド・カンパニー(株)の変則決算が影響）

(単位:百万円)		21/9期 ※1				22/9期		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前年同四半期比	前四半期比
売上高	毎日の暮らし事業 ※2	614	713	769	960	1,101	179.2%	114.7%
	ライフイベント事業 ※3	694	933	908	5,190	3,426	493.2%	66.0%
	その他	61	450	50	43	36	60.1%	84.7%
	調整額	▲30	▲44	▲31	▲27	▲35	-	-

※1：2021年9月期（2020年10月～2021年9月）の実績は、旧(株)くふうカンパニー及び(株)ロコガイドの連結業績を単純合算した金額（非監査）。

※2：「毎日の暮らし事業」区分において、(株)キッズスターの損益を2021年9月期第2四半期連結会計期間より、(株)しずおかオンラインの損益を2021年9月期第4四半期連結会計期間より連結。

※3：「ライフイベント事業」区分において、ハイアス・アンド・カンパニー(株)の損益を2021年9月期第4四半期連結会計期間より連結。

同社の決算期変更に伴い、同社損益は2021年9月期第4四半期に2021年5月～9月までの5か月分を計上。

連結業績 セグメント別 営業利益・EBITDA（四半期）

- 毎日の暮らし事業、ライフイベント事業ともに、堅調に推移
（ライフイベント事業の前四半期の業績は、ハイアス・アンド・カンパニー(株)の変則決算が影響）

(単位:百万円)		21/9期 ※1				22/9期		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前年同四半期比	前四半期比
営業利益	毎日の暮らし事業 ※2	176	185	207	220	365	206.7%	165.9%
	ライフイベント事業 ※3	83	112	91	410	243	293.0%	59.4%
	その他	▲16	62	▲22	▲29	▲31	-	-
	調整額	▲86	▲100	▲133	▲161	▲207	-	-
EBITDA	毎日の暮らし事業 ※2	185	206	234	257	397	213.9%	153.9%
	ライフイベント事業 ※3	97	126	105	587	328	338.0%	56.0%
	その他	▲16	62	▲22	▲29	▲31	-	-
	調整額	▲40	▲37	▲70	▲30	▲67	-	-

※1：2021年9月期（2020年10月～2021年9月）の実績は、旧(株)くふうカンパニー及び(株)ロコガイドの連結業績を単純合算した金額（非監査）。

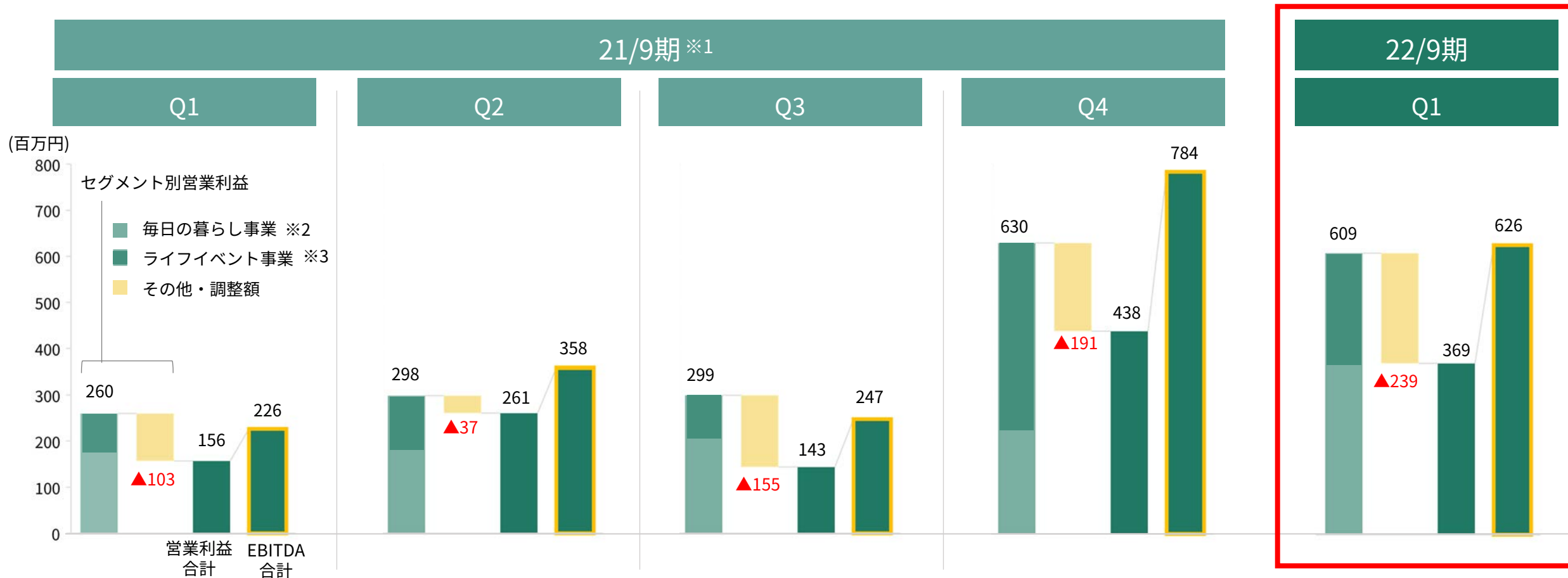
※2：「毎日の暮らし事業」区分において、(株)キッズスターの損益を2021年9月期第2四半期連結会計期間より、(株)しずおかオンラインの損益を2021年9月期第4四半期連結会計期間より連結。

※3：「ライフイベント事業」区分において、ハイアス・アンド・カンパニー(株)の損益を2021年9月期第4四半期連結会計期間より連結。

同社の決算期変更に伴い、同社損益は2021年9月期第4四半期に2021年5月～9月までの5か月分を計上。

連結業績 セグメント別 営業利益・EBITDA（四半期推移）

- 毎日の暮らし事業、ライフイベント事業ともに、堅調に推移
（ライフイベント事業の前四半期の業績は、ハイアス・アンド・カンパニー(株)の変則決算が影響）



※1：2021年9月期（2020年10月～2021年9月）の実績は、旧(株)くふうカンパニー及び(株)ロコガイドの連結業績を単純合算した金額（非監査）。

※2：「毎日の暮らし事業」区分において、(株)キッズスターの損益を2021年9月期第2四半期連結会計期間より、(株)しずおかオンラインの損益を2021年9月期第4四半期連結会計期間より連結。

※3：「ライフイベント事業」区分において、ハイアス・アンド・カンパニー(株)の損益を2021年9月期第4四半期連結会計期間より連結。

同社の決算期変更に伴い、同社損益は2021年9月期第4四半期に2021年5月～9月までの5か月分を計上。

連結業績 B/S

(単位:百万円)		2021年10月 設立時点	2021年12月末	増減額	増減要因
流動資産		15,613	13,996	▲1,617	<ul style="list-style-type: none"> ・主に借入金返済により現金及び預金が661百万円減少 ・時価のある有価証券の時価変動及び配当金の受領による簿価修正等により、営業投資有価証券が1,136百万円減少
(現金及び預金)		7,780	7,119	▲661	
(営業投資有価証券)		3,335	2,199	▲1,136	
(販売用不動産)		2,412	2,479	67	
固定資産		6,374	6,194	▲179	
(のれん)		4,190	4,024	▲166	
資産		22,000	20,201	▲1,799	
負債		10,460	9,426	▲1,033	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金及び長期借入金が返済により797百万円減少 ・時価のある有価証券の時価変動等により評価換算差額等が873百万円減少
(短期借入金及び長期借入金)		6,432	5,635	▲797	
純資産		11,540	10,774	▲765	
(資本剰余金)		9,013	9,017	4	
(利益剰余金)		738	822	83	
(評価換算差額等)		455	▲418	▲873	
(非支配株主持分)		1,314	1,334	20	
負債及び純資産		22,000	20,201	▲1,799	

※ () 記載している項目の金額は内書を表示。

グループの事業基盤（2021年12月末時点）

ユーザー

3つのユーザー接点により、ユーザーの行動を支援

Media



SaaS



Tool/Agent

ユーザー接点の最大化

事業者支援を通じたユーザーへの
間接的なサービス提供

毎日の暮らしに役立つツールと、
ライフイベントの専門サービスを提供

月間利用者数
約4,300万人^{※1}

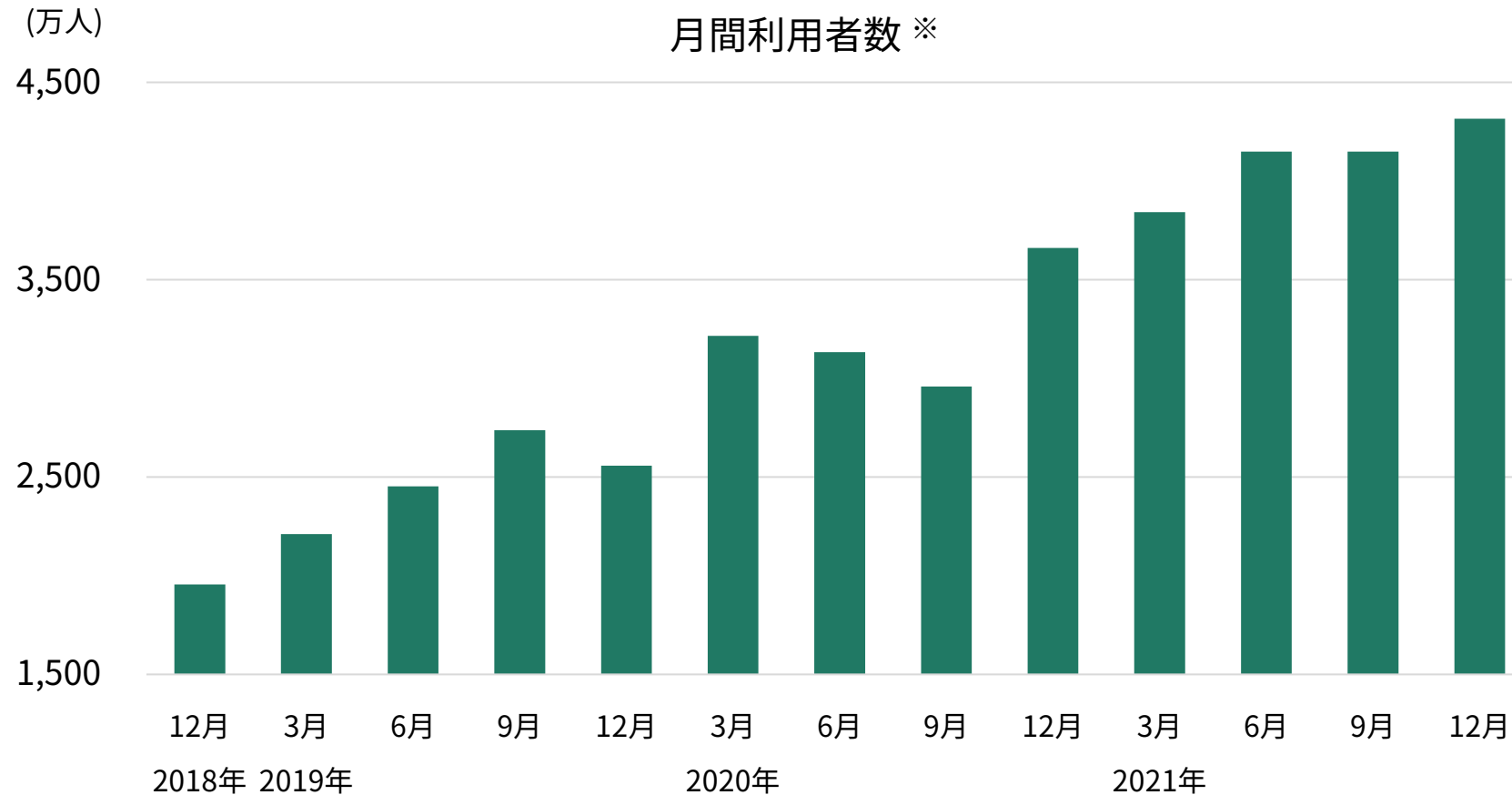
契約アカウント数
約59,900^{※2}

ツール累計DL数
約2,260万^{※3}
年間サービス提供数
約3,500^{※4}

※1：2021年12月末時点における日常生活領域、地域情報領域、住まい領域、結婚領域の主要メディア及びツール利用者数合計（ブラウザベースまたは端末ベース）。複数メディアまたはツール利用者の重複は考慮しない単純合算ベース。
※2：2021年12月末時点における「トクバイ」利用（有料及び無料）店舗数、(株)オウチーノが提供する広告掲載及び業務支援ツールサービスの利用店舗数、ハイアス・アンド・カンパニー(株)が提供するサービスの会員企業数、(株)エニマリの取引先会場数合計。
※3：2021年12月時点における「トクバイ」、「Zaim」、「ごっこランド」の累計アプリDL数合計。
※4：2021年12月時点を基準とした(株)エニマリの結婚式プロデュース件数年間概算値、2021年12月時点を基準とした住まい領域（ハイアス・アンド・カンパニー(株)を除く）におけるサービス提供数年間概算値、(株)しずおかオンラインの直近1年間における「イエタテ相談カウンター」相談数合計。

グループ全体のメディアの月間利用者数推移

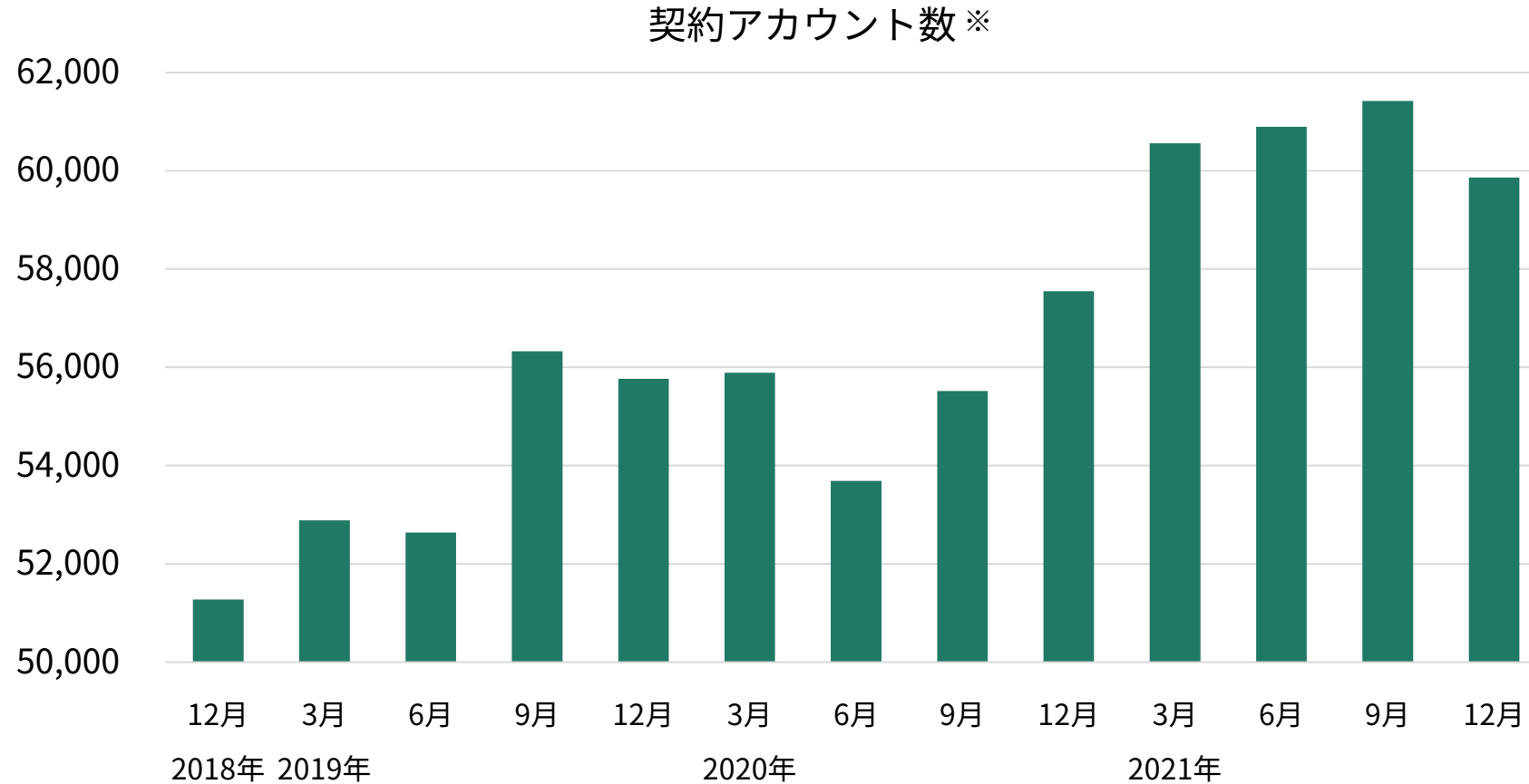
■ グループ全体のメディアの月間利用者数は、単純合算ベースで4,000万人超



※ 日常生活領域、地域情報領域、住まい領域、結婚領域の主要メディア及びツール利用者数合計（ブラウザベースまたは端末ベース）。
複数メディアまたはツール利用者の重複は考慮しない単純合算ベース。

グループ全体の契約アカウント数推移

- コロナ禍の影響により、トクバイサービスの外食を中心とした掲載店舗数が減少、グループ全体の契約アカウント数は約60,000に

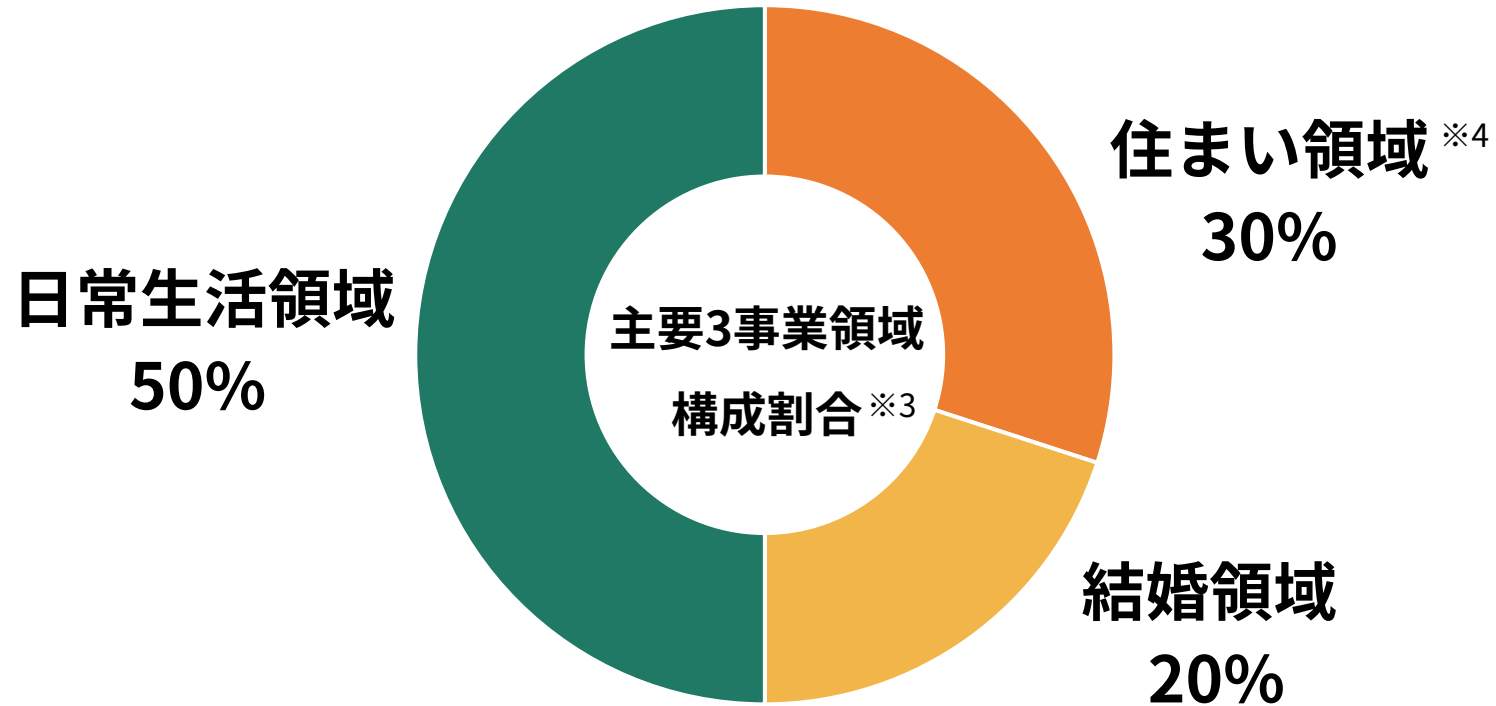


※ 「トクバイ」利用（有料及び無料）店舗数、(株)オウチーノが提供する広告掲載及び業務支援ツールサービスの利用店舗数、ハイアス・アンド・カンパニー(株)が提供するサービスの会員企業数、(株)エニマリの取引先会場数合計。

グループ経営目標

第5期 2026年9月期

グループEBITDA^{※1} 100億円^{※2}



※1: 「EBITDA」は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算出。

※2: 既存のグループ各社の事業成長により達成を目指す目標値。

※3: 主要3事業領域の合計額を母数とした各領域の構成割合。

※4: ハイアス・アンド・カンパニー(株)を含む。

アクトインディ(株)との資本業務提携契約を締結

- アクトインディ(株)との資本業務提携契約を締結、株式33.4%を取得し当第2四半期より持分法適用関連会社に
- 同社サービスが保有するおでかけ施設情報やユーザー基盤と、当社グループが営む生活情報メディアや親子向けコンテンツの他、地域情報や住まい情報サービスといった幅広い事業領域での連携を目指す

主要サービス：子どもとおでかけ情報サイト「いこーよ」 <https://iko-yo.net>



2008年12月にサービスを開始。現在、9万件を超えるおでかけ施設が掲載される、日本最大級のファミリー向けのおでかけ情報サイト。

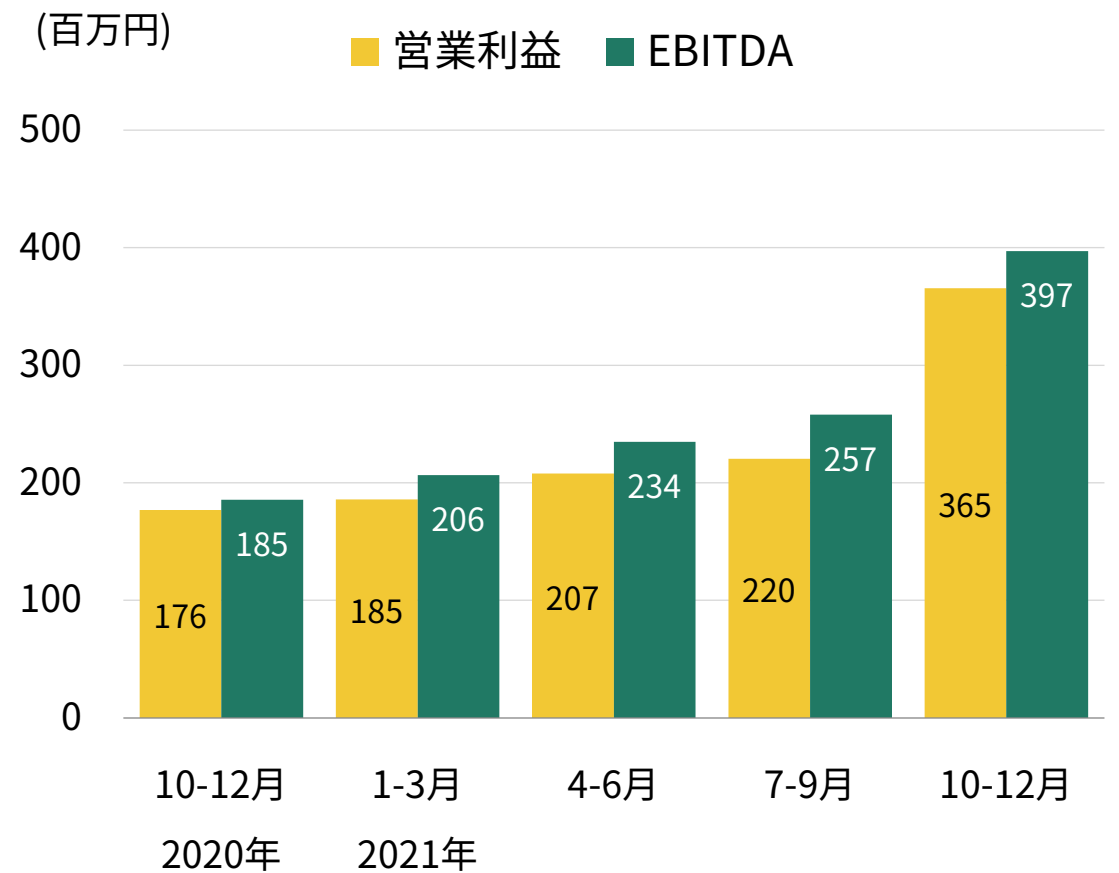
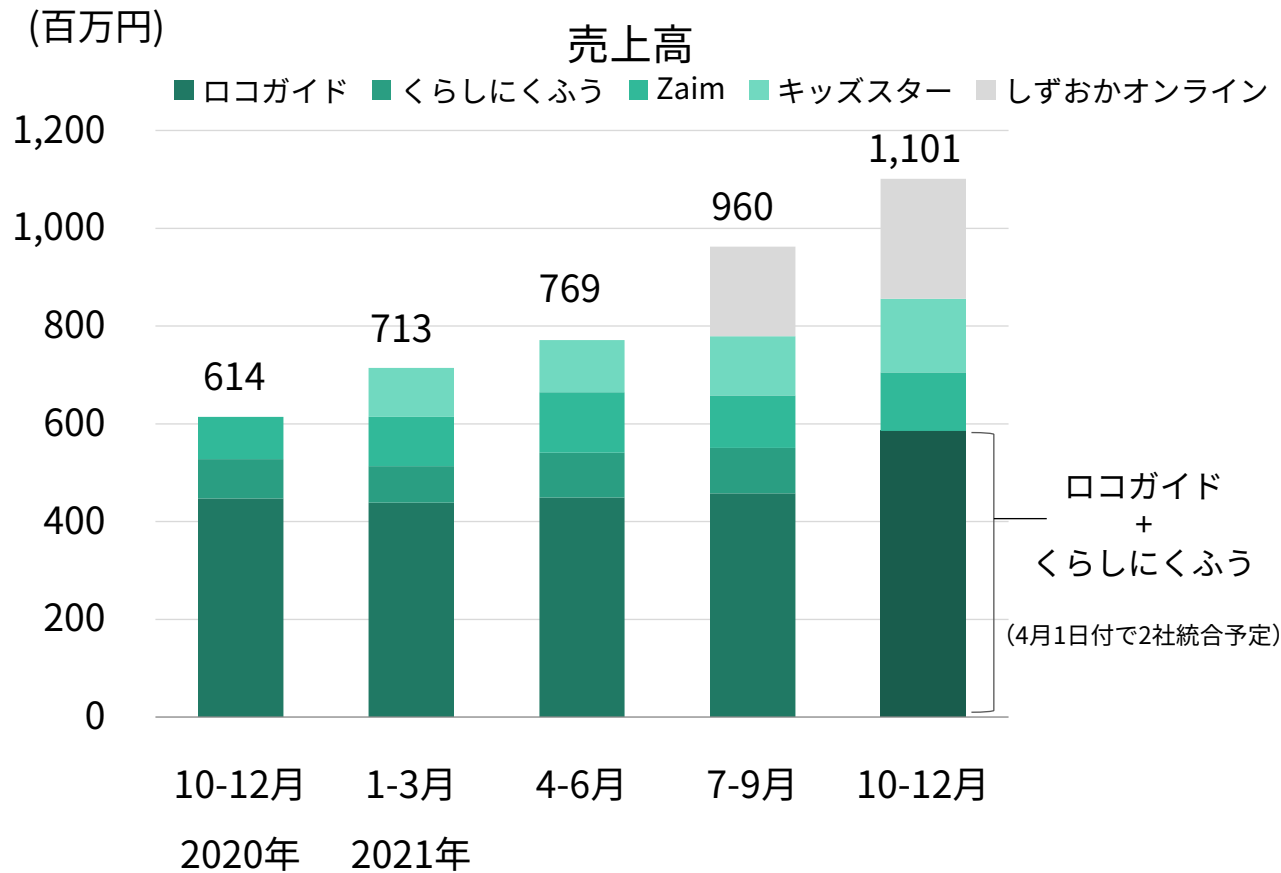
おでかけ施設の最新情報の他、割引クーポン、お得なチケットなど、家族のおでかけがもっと楽しくなる情報を提供。

2. 各事業セグメントの概況

毎日の暮らし事業

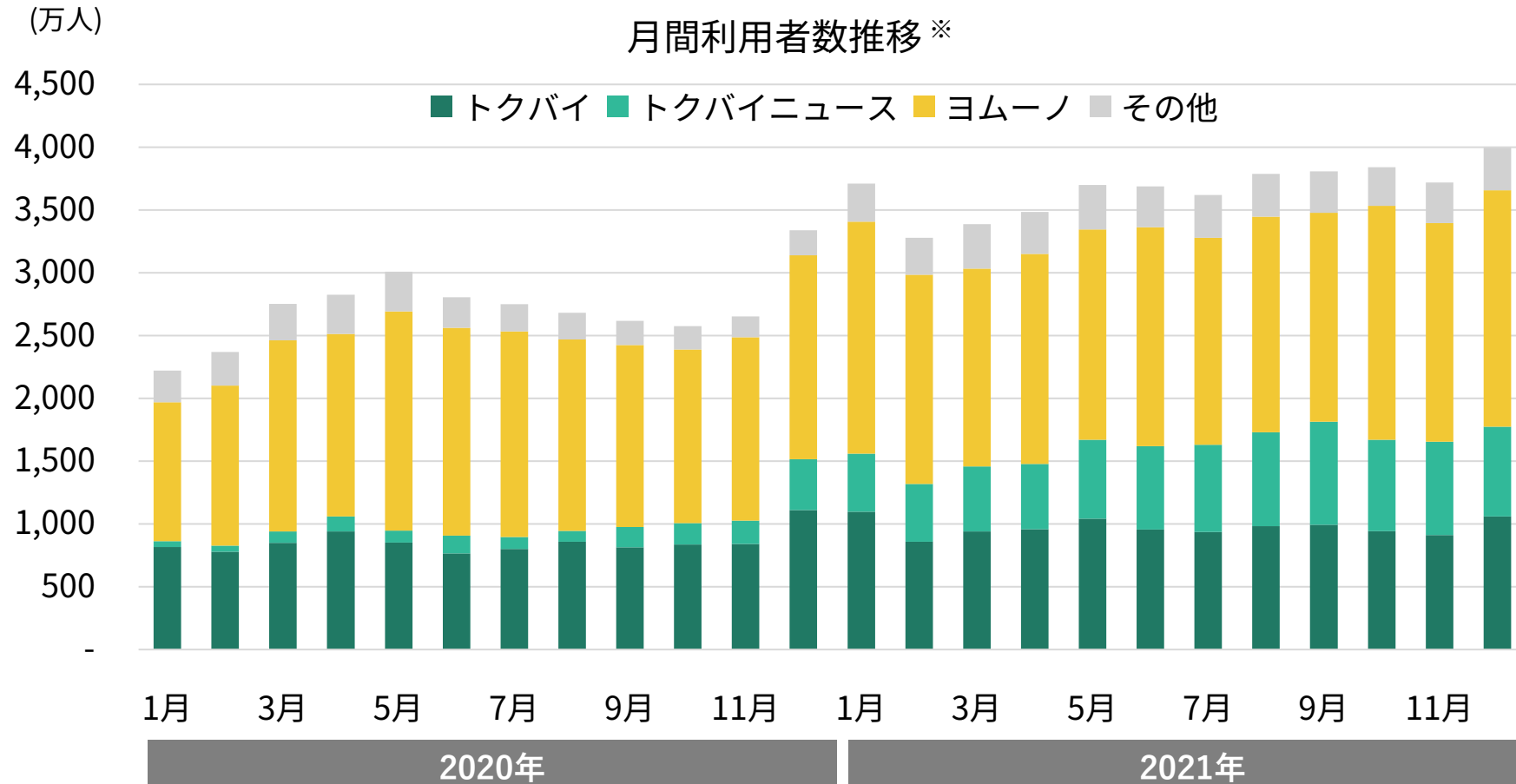
毎日の暮らし事業 業績 四半期推移

- メディアの利用者数増加と広告単価上昇によるネットワーク広告収入の拡大や大型ゲーム開発案件のリリースが増収を牽引
- (株)しずおかオンラインは季節性により住宅メディアの広告収入が増加
- 経営統合による管理コスト削減の寄与により増益幅が拡大



日常生活領域 月間利用者数推移

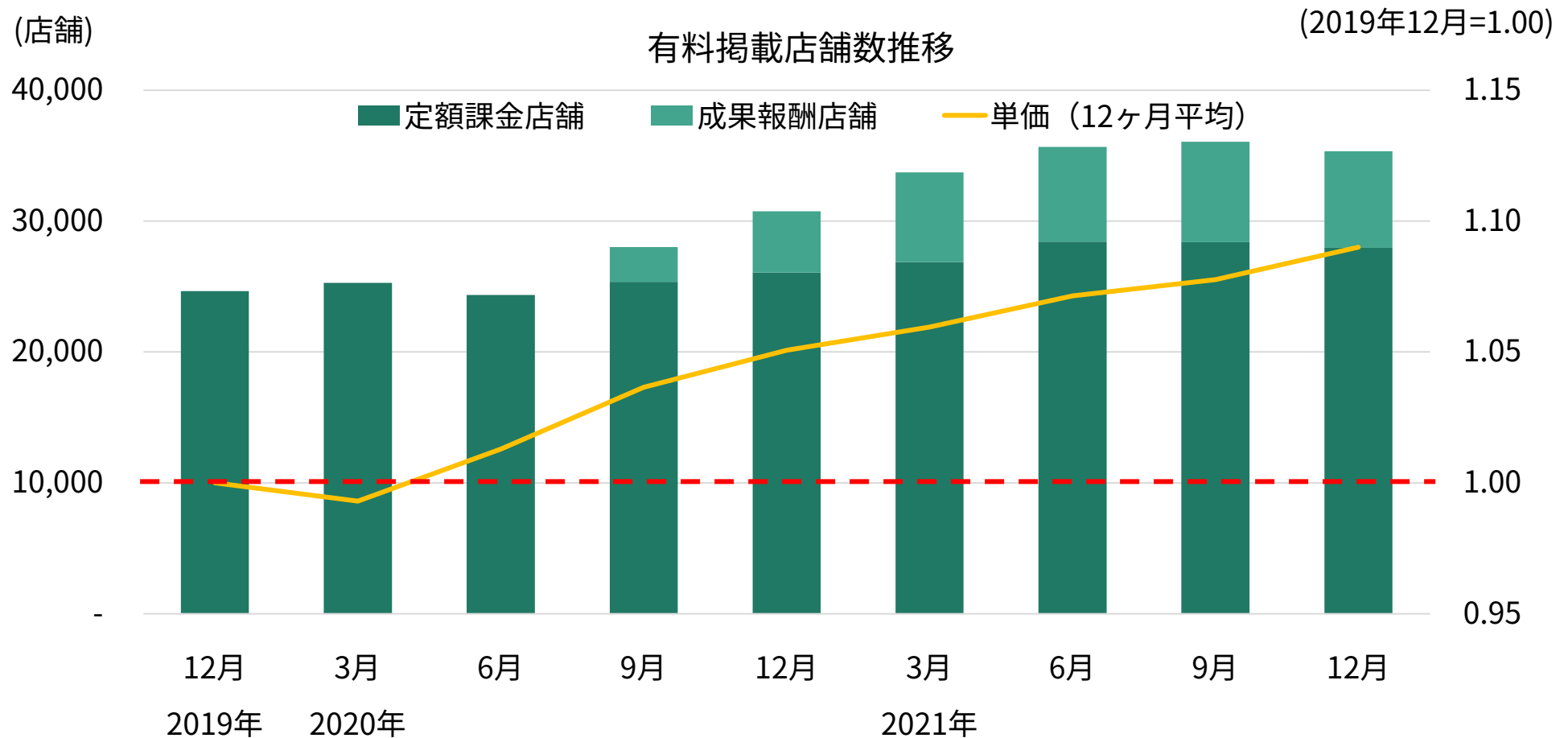
■ 約4,000万人にのぼり、堅調に推移



※ 日常生活領域内主要メディア及びツール利用者数合計（ブラウザベースまたは端末ベース）。複数メディアまたはツール利用者の重複は考慮しない単純合算ベース。

トクバイサービス有料掲載店舗数推移

- 2021年12月末時点の有料掲載店舗数は35,338店舗
- 定額課金店舗数はほぼ横ばい、単価が上昇
- 計画通り、業界の受注商機をターゲットに効率的な受注が進み、3~4月より掲載開始予定



トクバイサービスの取り組み：定額課金店舗の拡大

■ 定額課金店舗の拡大

- ・ 3～4月より複数の大手小売チェーンの掲載を予定
- ・ 外食、その他新業態も順次掲載予定

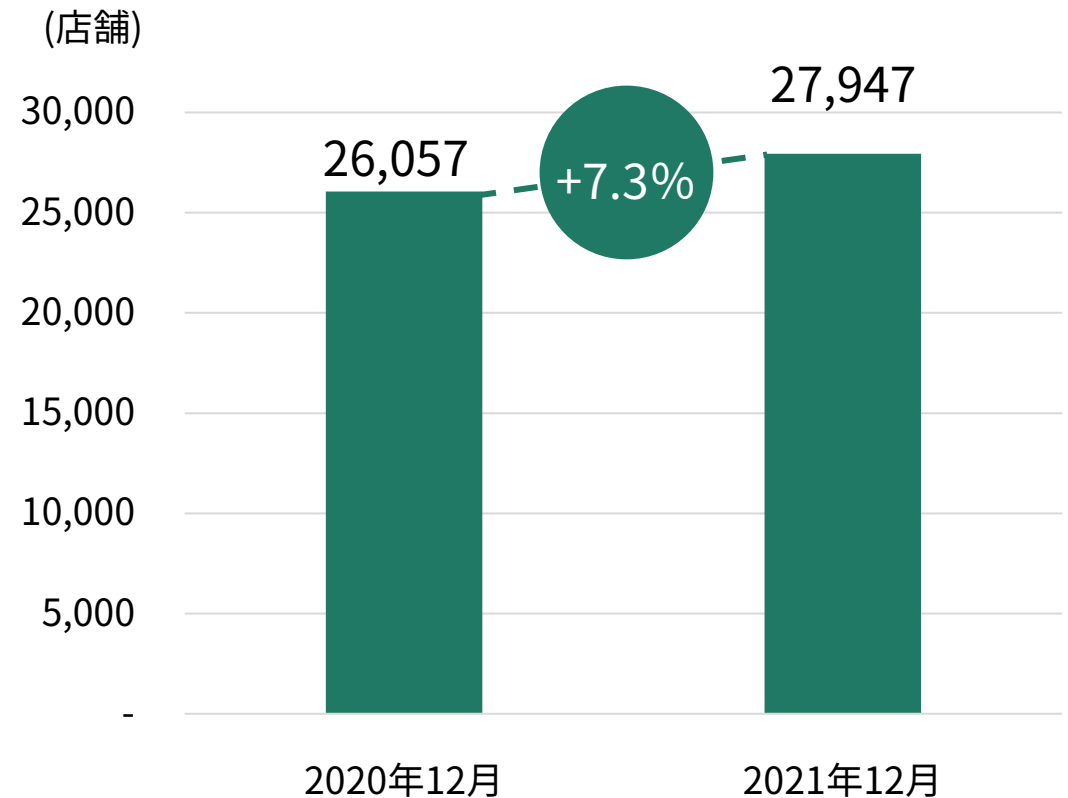
新規契約店舗の一例

リカーマウンテン様：2022年2月より契約、店頭販促とも連動



リカーマウンテンの
おトクな情報配信中!

定額課金店舗数



トクバイサービスの取り組み：メディア力の強化

■ メディア力を強化しユーザー数の増加へ

今後、「クーポン」「レシピ」コンテンツのリニューアルや、新業態のコンテンツ拡大へ

新規コンテンツ開発

- ・「チラシ以外」の買い物支援コンテンツ「52週特集」等を増強し、ユーザーの来店を促進
- ・年末年始のユーザー向けキャンペーン実施
- ・その他、順次新規コンテンツを開発中

グループメディア連携による集客

- ・ユーザー数2,000万人超のヨムーノとの連携を開始、第1弾は「チラシ」及び「クーポン」連携

▼「52週特集」の例



▼「52週特集」に連動した店舗チラシ



▼ユーザー向けキャンペーン



▼ヨムーノ内に「チラシ」「クーポン」ボタンを設置



▼「チラシ」ボタンクリック後



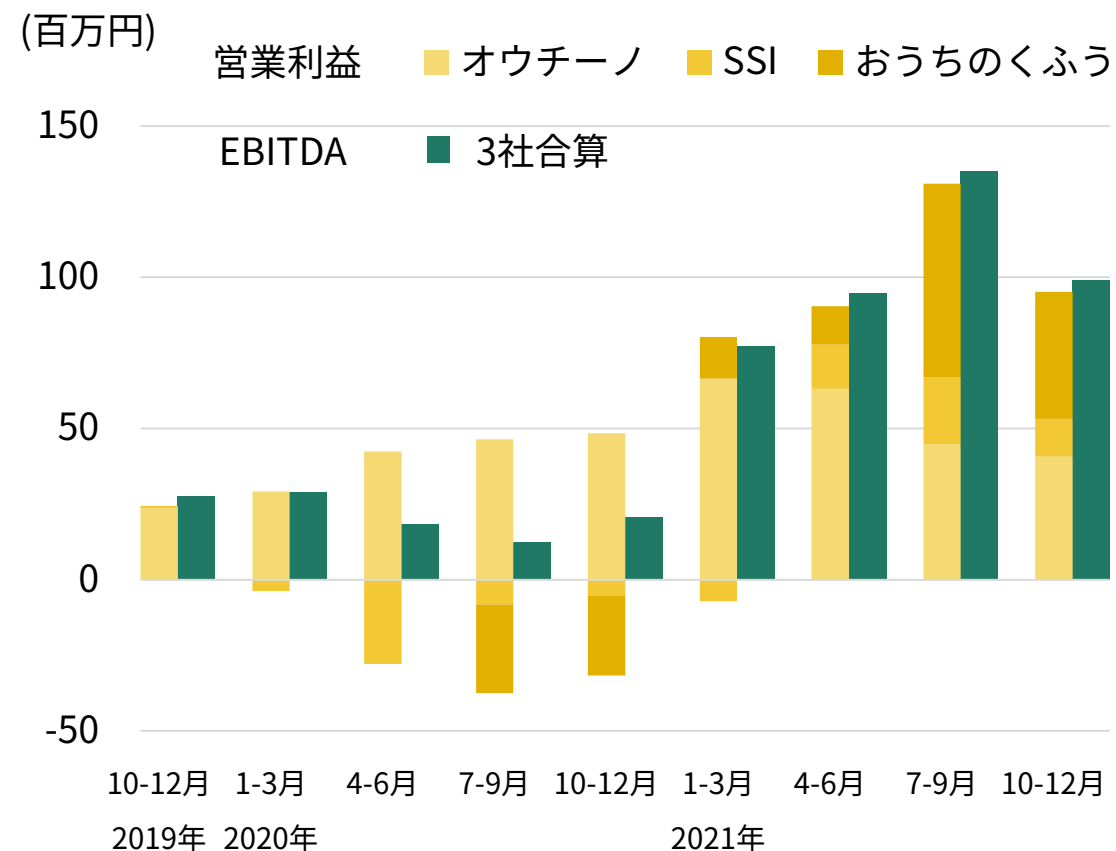
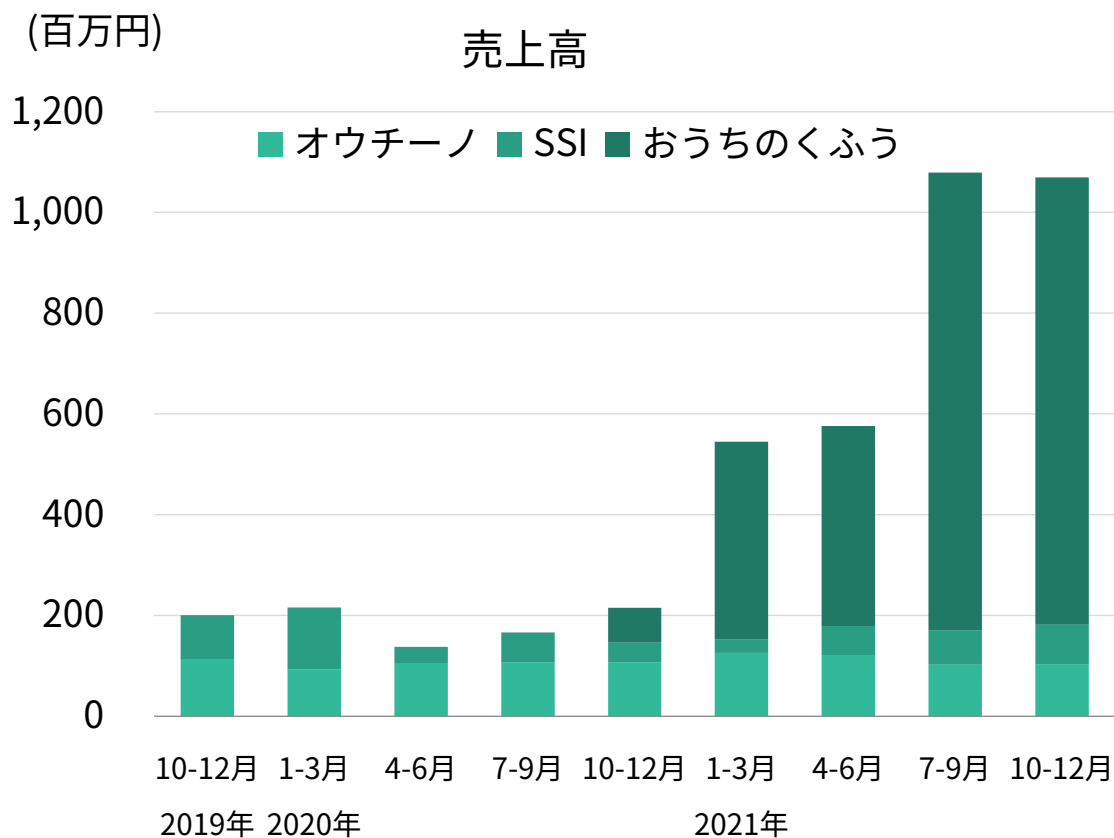
▼現在地周辺のチラシ一覧



ライフイベント事業

住まい領域(ハイアス社を除く) 業績※ 四半期推移

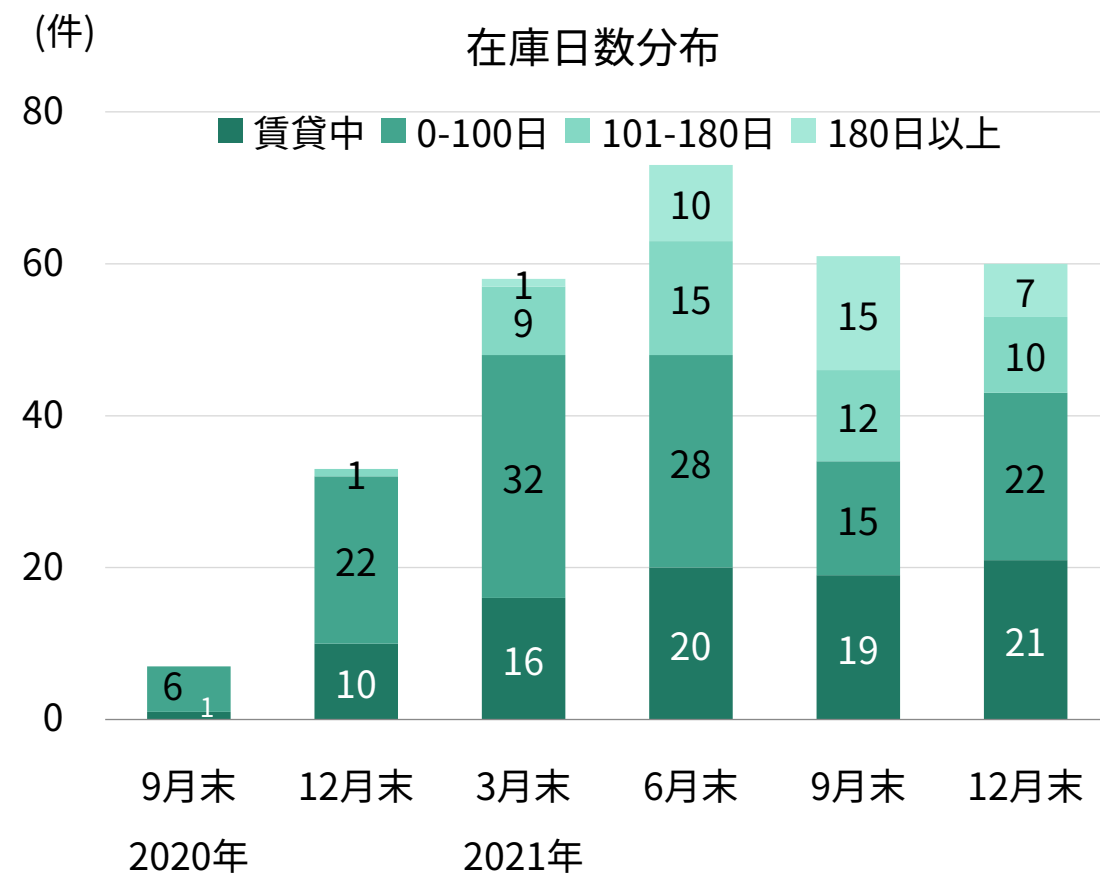
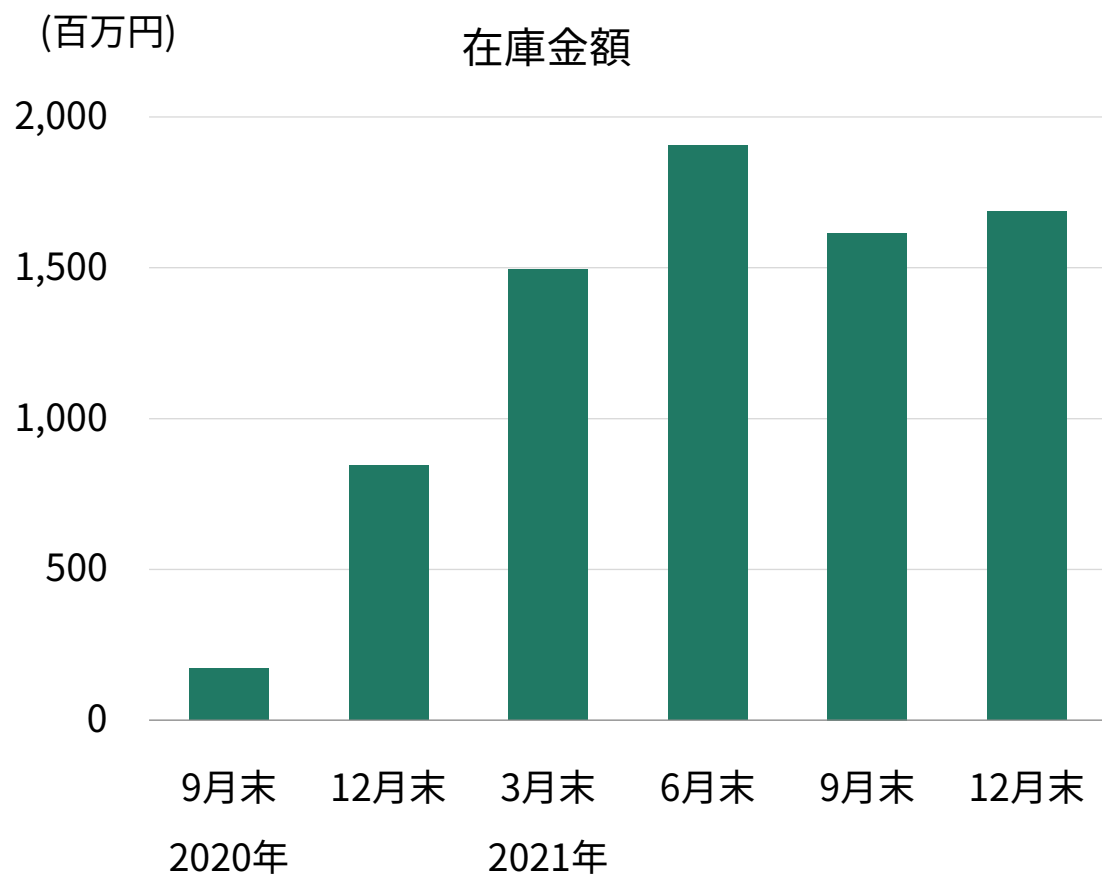
- (株)オウチーノはツール販売伸長により前四半期比微増収も、採用費等のコスト増により減益
- (株)おうちのくふうの買取再販事業は在庫健全性の観点から長期保有物件の販売を加速、利益率の低下により前四半期比減益



※ (株)オウチーノ、(株)おうちのくふう、(株)SSIの3社単純合算ベース (一部、グループ内取引含む)。

買取再販事業の在庫保有状況

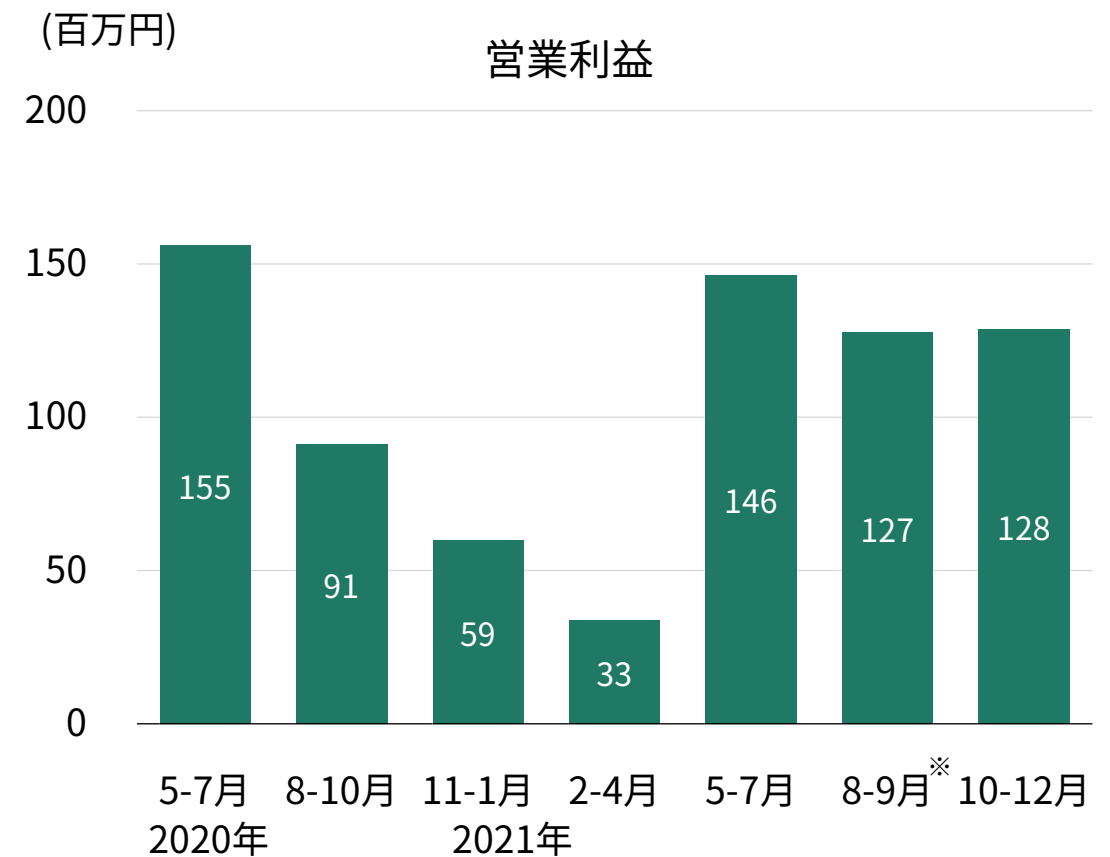
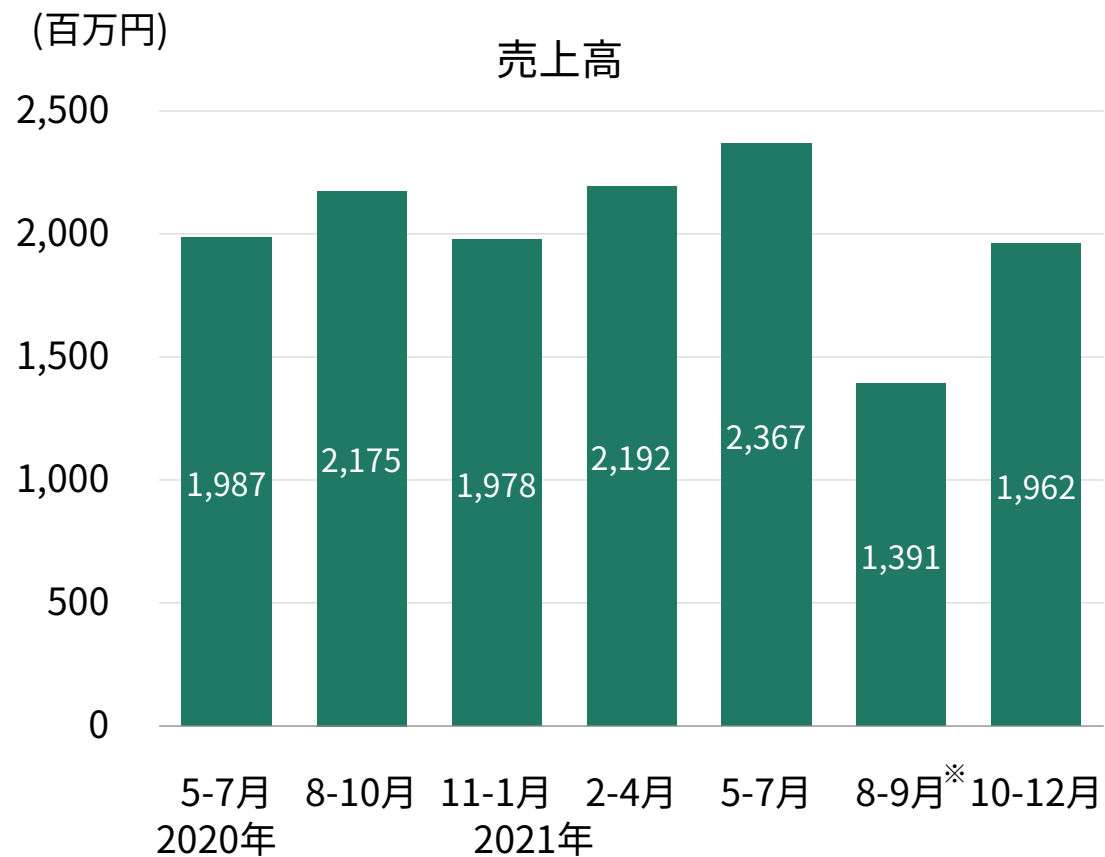
- 長期保有物件の売却が進み在庫構成が改善、10-12月の粗利益率は11.4%にやや下落するも（7-9月は12.8%）、12月末時点の在庫回転日数は123日へ改善（9月末時点は133日）※



※ 従来の開示（平均在庫回転期間=当該期間に販売した物件の平均保有期間）から算出方法を下記に変更。
 在庫回転日数=平均在庫金額/物件販売金額（賃貸物件に係る金額を除く。物件販売金額は当四半期の日割り金額）

ハイアス・アンド・カンパニー(株) 連結業績 四半期推移

■ 効率的な広告運用による広告宣伝費の減少や、オンライン営業ツールの利用による出張旅費抑制等の販管費削減に注力



※ 決算期変更に伴う変則決算のため、2021年8月1日～2021年9月30日(2ヶ月間)の実績。

ハイアス・アンド・カンパニー(株) 改善状況について

・特設注意市場銘柄に指定（2020年11月27日）

内部管理体制の改善が必要

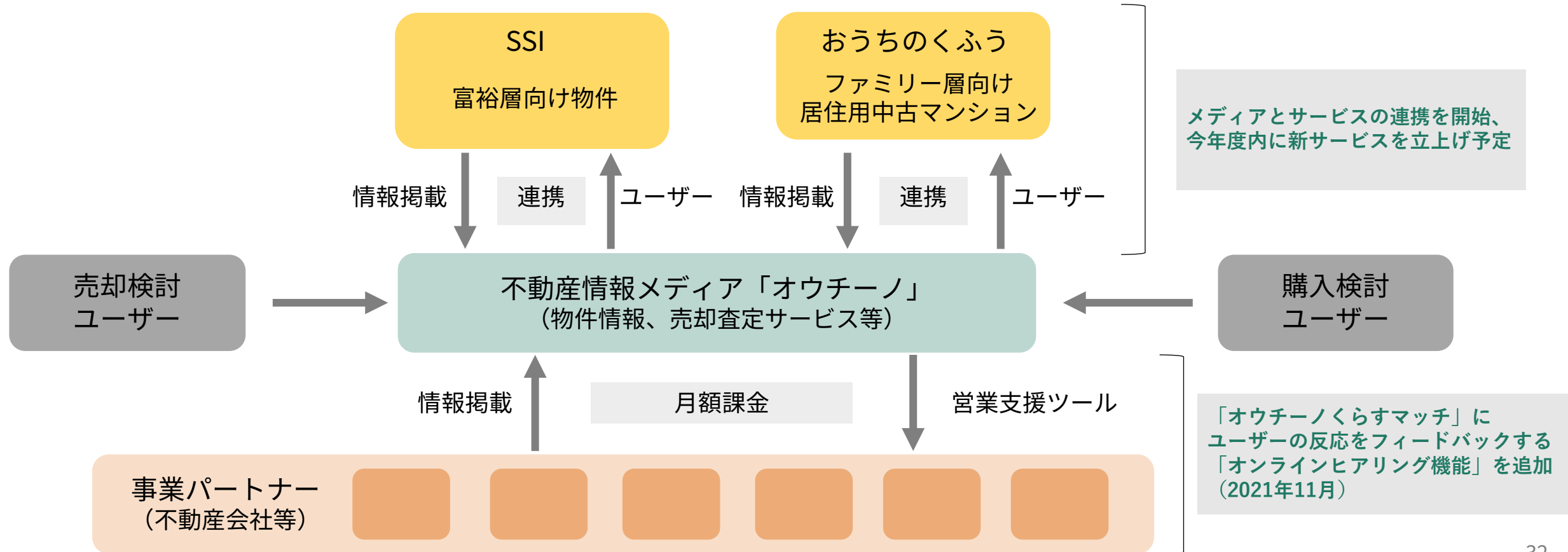
・改善状況

2021年11月29日：内部管理体制確認書の提出

2022年1月26日：特設注意市場銘柄指定の継続
引き続き内部管理体制の改善と内部管理体制確認書の再提出が必要

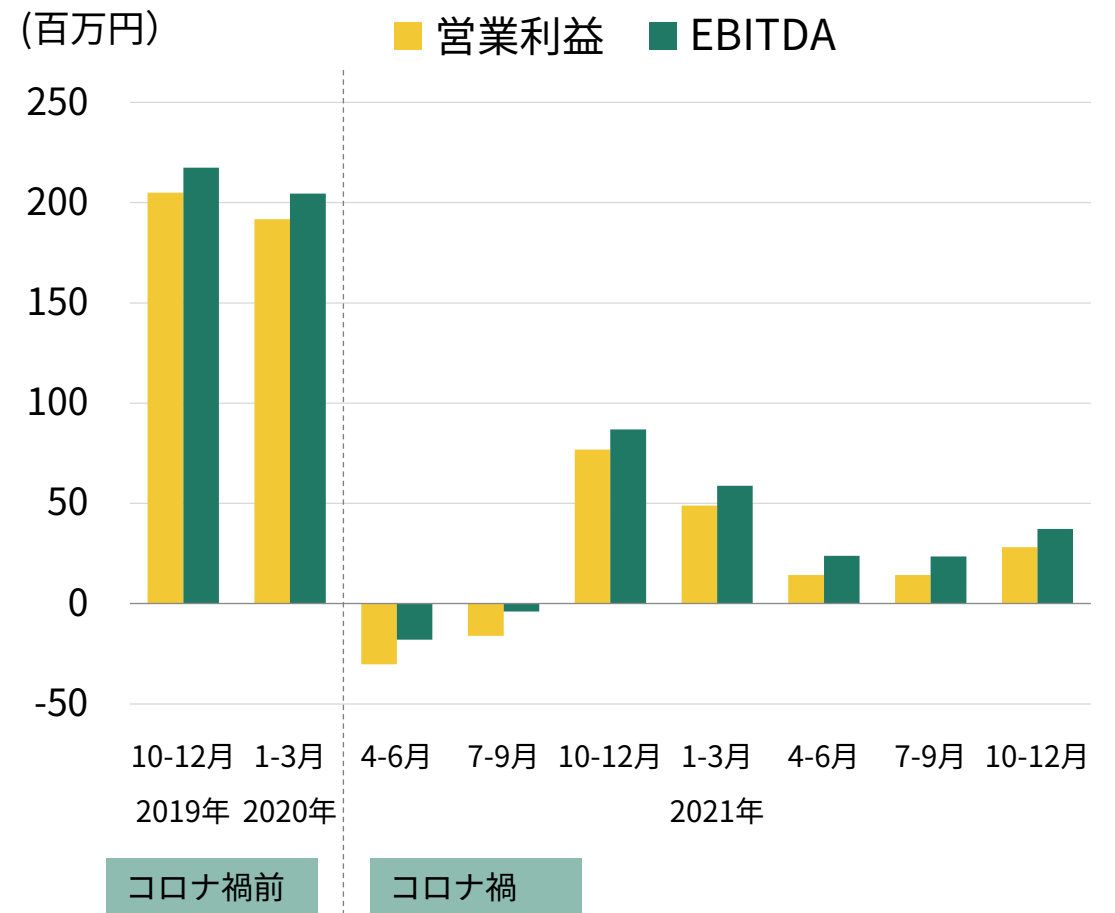
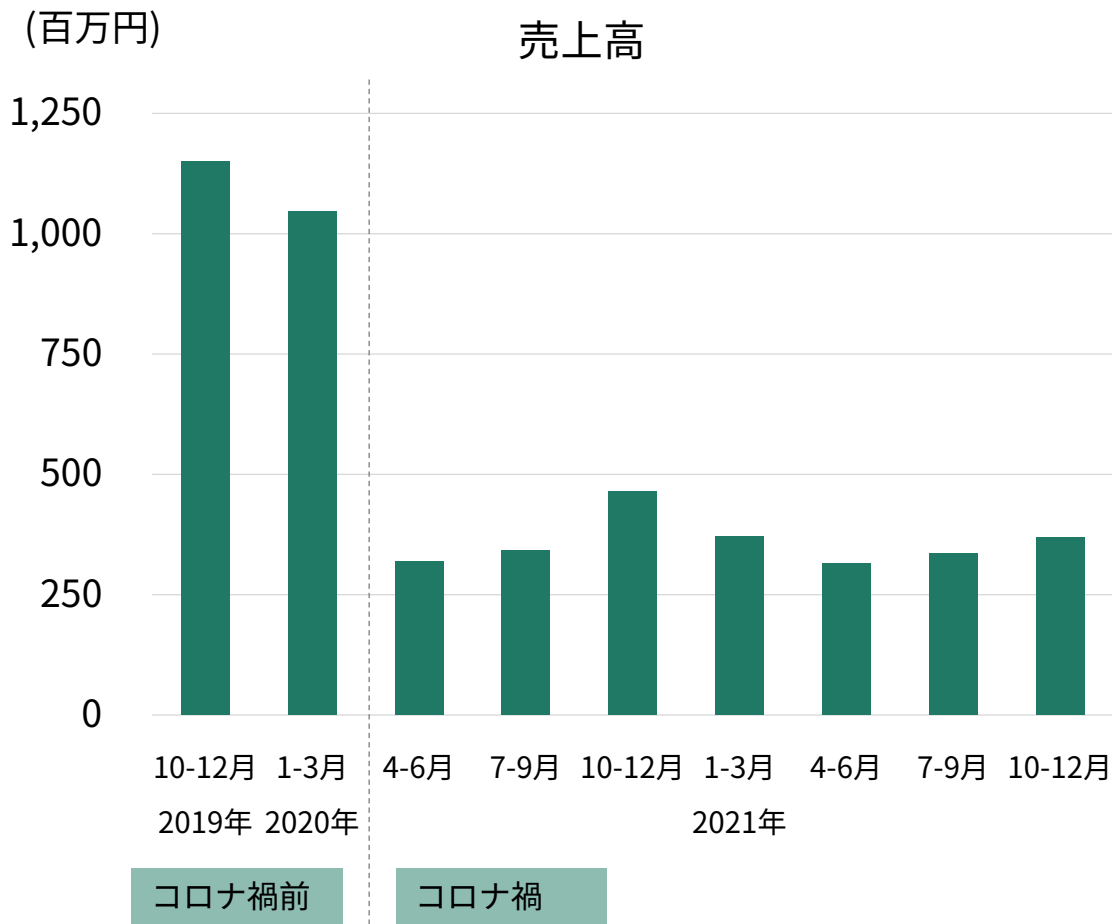
住まい領域の取り組み

- 住まい領域一体で独自サービスの提供を目指し、メディアとサービスの連携を開始
- 事業パートナーの拡大に向け、「オウチーノくらすマッチ」を物件周辺情報提供ツールから不動産仲介業務全般のDX推進ツールへ機能強化



結婚領域 業績 四半期推移

- 季節性広告商品の販売が前年同四半期並みに寄与するも、長期化するコロナ禍の影響等により有料広告掲載会場数が減少、業績は前年同四半期水準には届かず



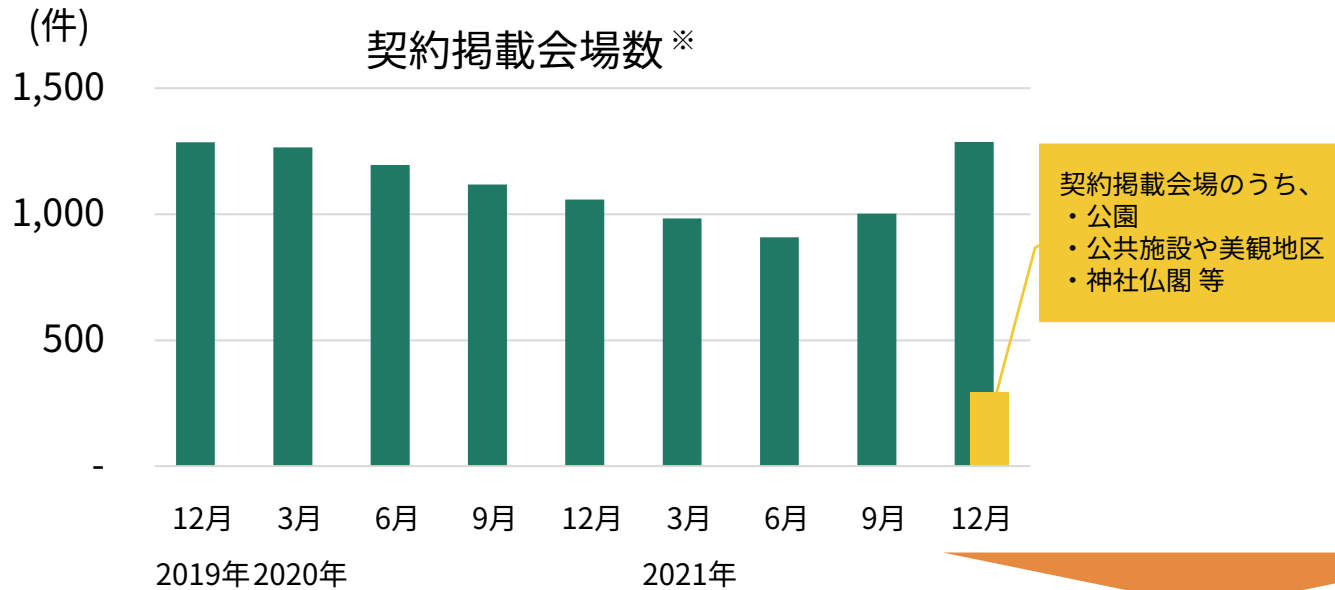
結婚領域の取り組み

■ 結婚式の会場及びプラン数の増加

「ユーザーの選択肢を増やす」事業方針の下、会場とのプロデュース契約が伸長、「みんなのウェディング」の契約掲載会場数が増加

- ・公園／公共施設や美観地区／神社仏閣等の多種多様な会場が増加、新しい結婚式プランを拡充
- ・「みんなのウェディング」でのサービスプランの多様化を進めることでニーズを取り込む

Any place：いわゆる結婚式場“以外”の会場も増加



Any plan：各会場につき複数会社のプランを紹介



同一会場について複数のプロデュースプランを「みんなのウェディング」で検索可能にするシステムを開発中

「従来型の結婚式を行わない層」「複数回の結婚式需要」等を取り込むことで広義の結婚式を増やし、ユーザーシェアを拡大する

※ 有料広告掲載会場またはプロデュース契約会場の合計（重複契約会場は1カウントとする会場ユニーク数）。

免責事項

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。

=お問合せ=

コーポレート・コミュニケーション部 IR担当

E-mail : ir@kufu.co.jp HP : <https://kufu.co.jp/>